

# シラカシ

【区画⑬(103)】

学名	<i>Quercus myrsinifolia</i> Blume	分類	ブナ科コナラ属
分布	東北地方南部～九州	樹高	15m程度の常緑高木

## 〈特徴等〉

名前の由来	・材が白いことが由来。		
葉の特徴	① 常緑・落葉	② 広葉・針葉	
	③ 対生・互生	④ 単葉・複葉	⑤ 鋸歯縁・全縁
開花等	・4月頃に黄褐色(黄色い茶系色)の雄花を付ける。 ・雌花は新しい枝の葉の付け根に付き直立する。		
結実等	・広楕円体の堅い実をつけ、秋に茶色く熟す。これはドングリと呼ばれる。		
その他	・カシ類は日本の常緑広葉樹林の代表種である。シラカシは関東地方に多いので「関東のカシ」と呼ばれる。		

## 〈写真〉

		
樹木 (4/3)	樹皮 (6/12)	葉の付き方 (4/3)
		
葉 (6/12)	花 (/)	果実(実) (/)

〈参考文献〉 牧野富太郎 (2017) 『新分類 牧野日本植物図鑑』北隆館, p. 673.  
林 将之 (2018) 『葉で見わかる樹木 増補改訂版』小学館, p. 88.